

別紙3

【薬効分類】 339 その他の血液・体液用薬

【医薬品名】 クロピドグレル硫酸塩・アスピリン

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

【「医療用医薬品添付文書の記載要領について」（平成9年4月25日付け薬発第606号局長通知）に基づく改訂
(旧記載要領)】

下線は変更箇所

現行	改訂案						
禁忌 <u>セレキシパグを投与中の患者</u>	禁忌 (削除)						
相互作用 併用禁忌	相互作用 (削除)						
<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>セレキシパグ</td><td><u>セレキシパグの活性代謝物の血中濃度が上昇する</u>おそれがある。</td><td><u>クロピドグレルのグルクロン抱合体がCYP2C8を阻害することにより、セレキシパグの活性代謝物の代謝が抑制される</u>と考えられる。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	セレキシパグ	<u>セレキシパグの活性代謝物の血中濃度が上昇する</u> おそれがある。	<u>クロピドグレルのグルクロン抱合体がCYP2C8を阻害することにより、セレキシパグの活性代謝物の代謝が抑制される</u> と考えられる。	
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
セレキシパグ	<u>セレキシパグの活性代謝物の血中濃度が上昇する</u> おそれがある。	<u>クロピドグレルのグルクロン抱合体がCYP2C8を阻害することにより、セレキシパグの活性代謝物の代謝が抑制される</u> と考えられる。					

併用注意

(新設)

併用注意

薬剤名等

セレキシパグ

臨床症状・措置方法

セレキシパグの活性代謝物 (MRE-269) のC_{max}
及びAUCが増加したと
の報告がある。本剤と
併用する場合には、セ
レキシパグの減量を考
慮すること。

機序・危険因子

クロピドグレルのグル
クロン酸抱合体による
CYP2C8阻害作用によ
り、これら薬剤の血中
濃度が増加すると考
られる。